



子どもたちとともに、 食について 学び続けたい

大阪市立栄小学校
宮崎 鈴菜 教諭 採用2年目

栄養 教諭



■ 教職をめざした「きっかけ」は……

昔から美味しいものが大好きで、食に関する仕事に興味を持っていました。栄養士の免許を取りたいと進学し、学びの中で、栄養教諭という職業に出会いました。栄養教諭という職業を知っていくうちに、「そういえば、栄養教諭の先生、自分の小学校にもいた！すごい！やってみたい！」と思うようになりました。子どもたちと共に、食について学ぶことができることが素敵だなと思い、栄養教諭をめざしました。

栄養教諭の免許を取得し、縁があって、大阪市の学校園で栄養職員として働くことになりました。社会人1年目で何もわからなかったのですが、先生方や給食調理員のみなさまが優しく教えてくださり、ぜひとも大阪市で栄養教諭として働きたいと思いました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

子どもたちが、毎日給食を「美味しい」と食べている姿を見ると、栄養教諭になってよかったな、と思います。栄養指導や給食指導をすることで、子どもたちが食べることに興味を持ったり、苦手な食べ物を食べている姿を見たりすると尊い仕事だな、と感じます。

子どもたちの近くに関わることができる仕事なので、子どもたちとコミュニケーションをとると、私も力が湧いてきます。毎日、子どもたちの姿や声に癒され、元気をもらっています。

■ 大阪市内で働く「魅力」は……

大阪市内は自校調理なので、小学校それぞれで給食調理を行なっていることもすごく魅力であると感じています。給食室と子どもたちの距離が近く、栄養教諭として私も一緒に関わることができます。

大阪市内は、栄養教育推進事業が充実していて、近隣校に栄養指導に行き、たくさんの授業をする経験もできます。授業をする中で、子どもたちに食べ物のことや自校調理で作っている給食のこと、季節の果物や行事食のことなど、さまざまな「食」のすばらしさを伝えることができることに魅力を感じています。

■ 教員になるまでに……

栄養士と栄養教諭の大きな違いは、子どもたちのいる教育現場で働くということです。学生のころには、放課後教室でアルバイトをするなど、栄養教諭になるためにできるだけたくさんのことを経験するようにしました。先生方の声かけや関わり方を身近で学ぶ機会になりました。

また、栄養の学習が子どもたちにとって楽しい学習になるよう、食についても学びを深めました。経験を積むことで、自分自身の食への興味も深まったと感じています。

■ 気持ちを切り替えるために……

美味しいものが大好きなので、できるだけ休みの日は外に出て美味しいものを食べたり、友だちとたくさん話をしたりして、心も身体も健康に保つことができるようにリフレッシュするようにしています。美味しいものに出あった時には、子どもたちにも共有するようにしています。休みの日や仕事終わりの時間を存分に楽しんで、「また仕事、頑張ろう」と思えるようにしています。



これから教員をめざす方へ……

毎日、美味しく給食を食べている子どもたちを見ると、私も元気になります。「しんどいな」と思うときには、運動場や教室で遊んだり、話をしたり、好きな食べ物の話でもりあがったりすることで、子どもたちから元気をもらっていることが多いです。

私自身、栄養教諭になろうか悩んだ時期もありましたが、「栄養教諭になってよかった」と、今、心から思っています。みなさまには、それぞれ、栄養教諭になりたいと思った理由があると思います。その気持ちを忘れずに頑張ってください。

自分自身も、ずっと学び続けられるというのが、この仕事の魅力です。ぜひ、一緒に、大阪市で栄養教諭として働きましょう！



1日のスケジュール

8:30	8:50	9:00		12:20		15:30	15:45	16:00	17:00
出勤	朝の時間	授業開始	給食調理員と打合せ	給食調理員と仕上がり	給食室や教室で	次の日	授業	事務作業	打合せ 退勤
		先生方と連携し、栄養指導をする日もあります	(献立や作業工程)	状況の確認・調整	配膳指導	の準備 終わり	担当している業務の資料づくりなど	職員会議や打合せ、行事の準備など職員全員での作業があることもあります	
				給食の時間には、教室をまわり子どもたちの様子を見るようにします					